

助成者	富澤 奏子	活動期間	2023年4月～2026年3月（予定） 活動中
所属機関	大牟田市動物園	職 名	企画広報担当

ネパールにおけるIoTセンサシステムを活用したレッサーパンダ生息地の環境保全、ならびに環境教育の推進

【活動場所】 ネパール イラム地方ジャウバリ、大牟田市動物園

【事業目的】 レッサーパンダ生息域に植林を行うとともに、地域住民と協働してIoTセンサシステムを活用して環境情報および生態情報に関するデータベースを構築。得られたデータと知見から環境教育素材を作成し、絶滅の危機に瀕するレッサーパンダの生息地の環境について理解を深めるための環境教育を推進することを目的とする。またネパールにおける保全活動への持続的な支援へ繋げるため、その内容を動物園から広く一般市民に発信し、市民参加型の持続的環境保全支援システム構築をする。



【活動内容】

- ①ネパールでのセンサを取り付けたトレイルカメラの設置（生息地の多点的情報、植林実施と前後の環境変化を数値化し、環境の変容を比較する）
- ②レッサーパンダ生息地への植林活動 ③事業内容の情報発信、ライブ配信
- ④得られた教育素材によるネパール小学校での教育活動日本における環境教育、ネパールと日本を繋いだ国際交流教育
- ⑤共同事業者を日本に誘致し、シンポジウム開催と共に、動物園へ募金箱と最終情報を表示するためのモニターを設置

【活動状況】

ネパールに導入する環境情報センサとカメラを組合わせた環境情報・生態情報センサシステムの試作、稼働テストを終えて、2024年3月にネパールでカメラの設置と植林を実施する。プロジェクトの内容については、ライブ配信（5月7日、9月16日）を行い、今後も順次開催していく。本プロジェクトへの関心は高まっており、日本・ネパール両国メディアから問合せを受けている。

